

議会だより

第194号

令和7年
11月発行

題字：村上 叶^{きょう}さん
屋良小学校3年



～主な内容～

令和6年度決算 予算は適切に使われていたか？ 議会がチェック!・・・P2

令和7年度 一般会計補正予算の主な事業・・・・・・・・・・P6

町政を問う! 15人の議員が一般質問・・・・・・・・・・P8～P23

題字紹介、職人・人物紹介・・・・・・・・・・P24

まちの職人・人物紹介 Vol.19
新垣好二さん

嘉手納町議会ホームページ

嘉手納町議会

検索



町議会を傍聴しましょう! 定例会は、3・6・9・12月に開かれます。

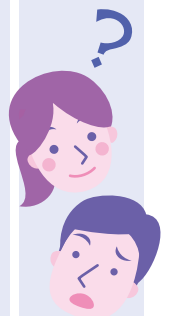
いたか？ 議会がチェック！ 9月定例会



ブラジルからの研修生歓迎会（令和6年12月13日）

令和7年第9回9月定例会が9月4日から26日の日程で開催された。本定例会では、令和6年度決算認定（一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、下水道事業会計、水道事業会計）及び令和7年度補正予算3件を含む議案9件、発議2件、陳情2件、報告3件を可決・採択した。

Q & A こんな質問がありました



Q 土地貸付収入の収入未済への対応、土地売却収入の件数は。

A 土地代の未納者がいるが今年度に納めてもらう。土地売却は屋良地区体育館西側、嘉手納高校東側の合計2件。

Q 軽自動車税の不納欠損の件数及び主な理由は。

A 不能欠損15件。生活困窮及び無資産、また、消息不明によるもの。



Q 普通交付税の傾斜配分額は。

A 例年5億円程度。

Q 国庫支出金の特定防衛施設調整交付金の額は。

A 8億5700万円余りが交付決定。

Q たばこ税が155万円余減額になっている理由は。

Q 由は。

A 売り渡し本数が約15万本の減となっている。

Q 管理職宿泊研修の内容は。

A DX推進に当たり管理職の役割、リーダーとしての業務への携わり方やリーダーとしての意識を組織の中で培っていく。

Q 定住促進事業補助金の実績は。

A 新築21戸、賃貸3戸、建物除去7戸。これまでに定住促進事業を利用して固定資産税5割補助の定住奨励金102件。



Q 海外移住者子弟研修受入事業の成果と課題は。

Q 若者の参加で横の繋がりが一つの成果。ブラジル・ボリビア以外の参加が少なくなっているのが課題。

Q 防災対策備蓄食料は何名の何日分を備蓄するのか。

A 住民と観光客を想定し人数の3日分、2万4327食を数年間で買い足しを行いながら計画的に入れ替える。



Q 雇用促進資格取得支援事業の内容は。

A 資格を取得する際にかかった経費の8割、又は10万円か額の低い方で補助を行う。ただし、合格した資格について対象。

令和6年度決算 予算は適切に使われて

令和6年度 **決算額** (1万円未満を切り捨てているため、差額に誤差があります)

会 計 名		令和6年度		差引差額
		収入済額	支出済額	
一般会計		168億4351万円	162億472万円	6億3878万円
特別会計	国民健康保険	20億2190万円	19億7098万円	5092万円
	後期高齢者医療	3億1440万円	3億1329万円	110万円
下水道事業会計		3億5605万円	3億1814万円	3791万円
水道事業会計		3億4769万円	3億5456万円	△687万円

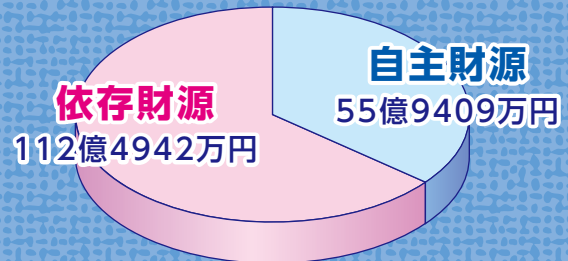
※下水道・水道事業会計には資本的収入及び支出の金額は含まれておりません。

令和6年度 町の収入(歳入)

収入済額 **168億4351万円**

町民1人あたり年間約130万円収入がありました。

※令和7年3月末時点の住民基本台帳人口12,901人で計算。



令和6年度 町の支出(歳出)

支出済額 **162億472万円**

町民1人あたり年間約125万円使われました。

※下記以外にも使われた費用があるため、1人あたりに使われた金額と目的別使用額の総計とは異なります。

議会運営や議員報酬等 (議会費)



1人あたり9703円

計画推進、防災、選挙、 徴税等(総務費)



1人あたり11万2338円

子ども、お年寄り、 障がい者等(民生費)



1人あたり29万1135円

健康増進、予防接種、 ごみ処理等(衛生費)



1人あたり5万5080円

農林水産業 (農林水産費)



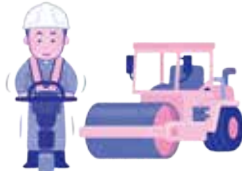
1人あたり3236円

商業や観光振興 (商工費)



1人あたり5万1078円

道路、住宅整備、 それらの管理等(土木費)



1人あたり46万3796円

ニライ消防への負担金等 (消防費)



1人あたり2万3157円

学校、文化、 スポーツ振興等(教育費)



1人あたり16万8344円

借金(町債)返済 (公債費)



1人あたり4万6961円

8月14日 発議10号・11号
F15E米軍戦闘機の車輪欠落事故に
対する意見書・抗議決議

町民の生命、財産、安全を守る立場から、米軍及び関係当局に対し事故原因が究明され有効な再発防止策が講じられるまでF15E戦闘機の飛行訓練を停止すること、全ての航空機の住民居住地上空での飛行訓練を禁止することを求める意見書・抗議決議を可決した。

8月27日
嘉手納米軍基地第18航空団抗議要請
行動

パラシュート降下訓練は、小規模ではなく常態化していることから嘉手納基地での同訓練は、容認できないことを主張した。また、旧海軍駐機場において騒音軽減イニシアティブに反して航空機による使用禁止のSACO合意が遵守されていないことは合意違反ではないかと訴えた。米側は、適用法令にしたがい合意に基づいて全ての飛行場運用は行っていると回答した。

9月4日 発議12号・13号
常態化する米軍パラシュート降下
訓練に厳重に抗議する意見書・決議

再三にわたり中止を求める中、今年4回目のパラシュート降下訓練が実施されたことについて議会は、嘉手納飛行場でのパラシュート降下訓練の全面禁止と「例外的措置」の撤廃を求める意見書・抗議決議を可決した。



外務省沖縄事務所へ要請
(8月29日)



沖縄防衛局へ要請
(8月21日)

令和6年度 政務活動費収支報告書

政務活動費とは、「地方自治法」及び「嘉手納町議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員が町政の課題や町民の意思を把握し、町政に反映させる活動等に要する経費に対して交付されます。

交付額：1月あたり15,000円
※交付額より支出が多い場合は自己負担。
返 還：残余がある場合、残額は町へ返還されます。

	議員名	交付額計	支 出						支出計	残 高
			調査研究費	研修費	広報・広聴費	資料作成費	資料購入費	事務費		
令和6年度 政務活動費収支総括表	嵩原 妙子	150,000	74,038	0	50,000	5,280	4,620	0	133,938	16,062
	福地 義広	180,000	90,043	0	71,729	0	0	2,997	164,769	15,231
	仲村 一	150,000	0	90,043	0	0	0	0	90,043	59,957
	志喜屋 孝也	150,000	0	0	0	0	0	28,202	28,202	121,798
	宇榮原 京一	180,000	74,038	7,600	106,128	0	0	6,130	193,896	0
	古謝 友義	180,000	74,038	0	50,000	0	0	14,518	138,556	41,444
	安森 盛雄	180,000	115,576	0	50,000	0	0	12,400	177,976	2,024
	新垣 貴人	180,000	109,960	10,925	20,024	0	0	9,033	149,942	30,058
	照屋 唯和男	180,000	74,038	0	50,000	0	11,322	14,966	150,326	29,674
	當山 均	150,000	0	0	116,490	16,775	500	11,207	144,972	5,028
	金城 利幸	150,000	0	90,043	0	0	0	10,000	100,043	49,957
	奥間 常明	165,000	74,038	0	50,000	0	0	0	124,038	40,962
	田崎 博美	180,000	0	0	0	130,000	50,050	0	180,050	0
	石嶺 邦雄	150,000	90,053	0	0	0	9,972	0	100,025	49,975
	仲村渠 兼栄	150,000	0	13,300	89,100	3,830	32,592	25,882	164,704	0
	仲村 龍也	30,000	0	0	0	0	2,600	26,763	29,363	637
	伊敷 猛	30,000	0	0	0	0	2,600	5,115	7,715	22,285
	知花 賢幸	30,000	0	0	0	0	2,600	12,220	14,820	15,180
	合 計	2,565,000	775,822	211,911	653,471	155,885	116,856	179,433	2,093,378	500,272

※令和7年1月に選挙があったため、1月分までの15万円(10か月分)を4月に交付し、2月は必要に応じて交付しています。

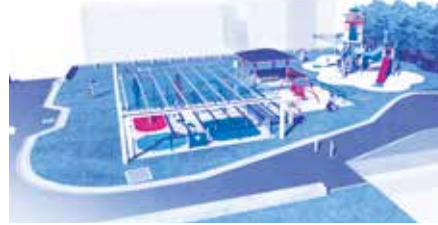
水釜街区公園リニューアル

西浜区コミュニティセンターに隣接する水釜街区公園は、老朽化した遊具の安全性の確保と利便性の向上のため再整備を進めている。令和6年度に遊具選定等の設計業務が完了しており、整備工事は令和8年3月に完了する予定。

整備される遊具は複合遊具、乳幼児用遊具、ブランコ等。また、東屋や乳幼児用遊具に屋根設置工事などがある。

【水釜街区公園とは】

水釜街区公園は、嘉手納町の都市計画における地区公園の一つで、嘉手納町には、水釜街区公園の他にも兼久海浜公園や屋良城跡公園などがあり、町民の生活を支える重要な施設として位置づけられている。



水道料金！

昭和57年以来43年

初の改定！

令和8年5月分より

水道事業は水道料金等で事業費を賄う独立採算制を原則とし、経営の効率化により料金体系を維持しながら老朽化した施設の更新等を行ってきた。

しかし、嘉手納基地への給水量の減少、県企業局値上げ受水費の増加や物価高騰の影響等により3期連続で赤字決算となっており、今後も給水収益の大幅な増収は見込めないため、事業が継続できなくなると判断した。

水道料金の改定は、昭和57年以来43年の間、消費税に伴う改定以外実質的な改定が行われておらず、今後見直しが必要となることから水道事業審議会を立ち上げ、審議を行った結果、給水収益を約26%増加させる水準での料金改定はやむを得ず、かつ妥当な措置であると判断された。

この答申を踏まえ、料金改定に関する「給水条例の一部を改正する条例」が全会一致で可決した。



新学童クラブ施設を建設

令和7年9月10日、議案第11号嘉手納町一般会計補正予算（第1号）において「放課後児童クラブ（学童クラブ）施設建設工事実施設計等委託料」9471千円が原案可決された。

現在、嘉手納小学校ランチルーム内で実施されている民間学童について学校側より、ランチルームを使用したいと要望があり、令和8年度から嘉手納地区学習等共用施設・児童館へ移動する予定であるが、沖縄防衛局より、同嘉手納地区児童館は、防衛補助金を使用し整備・改修工事を行った施設においては、学童が専用使用した場合、目的外使用になるため多額の補助金返還になる、と通報があった。

よって、学童による当該施設の使用は一時使用と認められる一年以内で令和8年度のみとする。

物価高騰対策

嘉手納町では、食料品等の価格高騰の影響を受けた町民の個人消費並びに地域経済の回復を図ることを目的に、町民の生活を支援する嘉手納町生活支援商品券を配布する「嘉手納町生活

なった。そのため、新施設を北区コミュニティセンター横に建設することに決定し、令和9年度より新施設における学童事業の開始となる。



新学童クラブ施設を北区コミュニティセンター横に建設

支援商品券配布事業」を実施する。

令和7年8月1日時点において嘉手納町の住民基本台帳に記録されている世帯が対象。1世帯あたり50000円分（500円券×10枚）を配布。使用期限は令和8年1月31日（土）までとなっている。

令和7年度

一般会計補正予算の主な事業

(1万円未満切り捨て)

商品券換金業務委託料 (3131 万円)

物価高騰対策で各世帯へ5千円の商品券を配布。

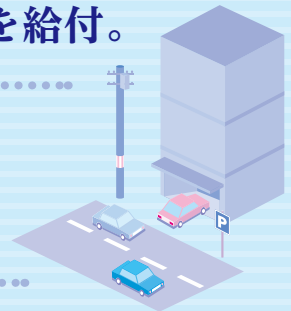


子育て世帯応援給付金 (1325 万円)

子ども(0歳から18歳まで)1人あたり5千円を給付。

公有財産購入費 (2990 万円)

久得酪農用地に設置されている建築物を買取る。



東駐車場立体化整備工事基本設計委託料 (2508 万円)

東駐車場の駐車台数を335台から600台まで増設。

給食費補助金 (541 万円)

物価上昇で食材の値上げに対応。無償化は継続。



第8回 臨時会 主な議案一覧

件 名	議決結果
財産の取得(マイクロバス購入)	原案可決
総合福祉センター駐車場整備工事請負契約	原案可決
嘉手納地区学習等供用施設・児童館改修工事請負契約	原案可決
屋良小学校体育館予防改修工事請負契約	原案可決

第9回 定例会 主な議案一覧

件 名	議決結果
町水道事業給水条例の一部を改正する条例	原案可決
水釜児童公園遊具設置工事請負契約	原案可決

総務財政常任委員会

交差点内の渋滞解消、
安全通行に向け
現地で協議

総務財政常任委員会は「水釜大木線と町道48号交差点」及び「新町通りから漁港へ下る交差点（港通りと交わる三差路）」を現地視察した。所管課から、現状・課題・改善策等の説明を受け、交差点内の渋滞解消や安全通行に向け意見交換を行った。また、北区自治会における「災害用の備蓄品・防災グッズの保管・管理」について、北区コミュニティセンター内の備蓄倉庫を視察し、伊敷自治会長から、北区自治会独自の取り組みについて説明を受けた。



新町通りから漁港へ下る交差点

文教厚生常任委員会学校視察

嘉手納中学校（10月15日）、屋良小学校（10月17日）、嘉手納小学校（10月20日）において、各学級でのGIGAスクールタブレットや、実習等による授業を視察した。児童生徒が、真剣なまなざしで授業を受けている様子や、教師が寄り添って授業に取り組んでいる状況がうかがえた。

その後、ICT授業の現状や、給食、不登校問題、児童生徒への対応等に関して学校の取り組み、課題、要望について意見交換会を実施した。様々な課題や要望等を行政と協議連携し、解決に向けて取り組んでいくことを確認した。



所管事務調査
建設経済常任委員会

令和7年6月13日、建設経済常任委員会は所管事務調査として、水釜護岸沿い及び兼久海浜公園駐車場、嘉手納公園の現地調査を行った。



① 護岸堤防に日除けと休憩のできる東屋の設置が必要だと感じた。



② 水釜町営第2団地側、町管理の護岸堤防にスロープを整備する必要があると感じた。



③ 護岸堤防の町道側の側溝に蓋がないため車両等脱輪の危険がある。



④ 兼久公園内駐車場に放置車両が数台確認された。撤去及び管理強化の必要がある。



⑤ 嘉手納公園内の日陰対策と、同公園園路及び遊歩道に防犯カメラの設置が必要である。

町政を問う

題字：伊敷 猛 議員

15人の議員が一般質問

(質問順)

伊 敷 猛……………P 9

小学校制服自由化について

福 地 義 広……………P 1 0

嘉手納基地からの連日の大音量放送について

田 崎 博 美……………P 1 1

子ども子育て支援事業について

奥 間 常 明……………P 1 2

嘉手納町地域防災計画及び国土強靱化
地域計画について

照 屋 唯和男……………P 1 3

嘉手納町有財産久得拝所地の久得郷友会への
真正なる登記名義の回復を

仲 村 龍 也……………P 1 4

ビーチ計画方針について

當 山 均……………P 1 5

青少年の大麻など違法薬物乱用防止に向け
取組強化を

古 謝 友 義……………P 1 6

福祉の充実を

安 森 盛 雄……………P 1 7

暑さ対策強化を問う

志喜屋 孝 也……………P 1 8

ロータリー広場・新町通りの街灯・防犯灯の
不点灯について

嵩 原 妙 子……………P 1 9

「嘉手納町女性デジタル人材育成事業」について

知 花 賢 幸……………P 2 0

米空軍嘉手納基地の機能強化による負担増大について

仲村渠 兼 栄……………P 2 1

特殊詐欺・闇バイト対策は

宇榮原 京 一……………P 2 2

義務教育に係る費用の無償化を目指して

新 垣 貴 人……………P 2 3

町民の健康増進の施策について





伊敷 猛

詳しくは動画を Check →



小学校制服自由化について

保護者負担軽減のためにランドセル自由化はいいことだと考えるが、周知がうまくされていない。また、小学生は身体の成長も著しく、経済的観点から制服自由化を提案する。

問 入学前のランドセル自由化の説明はいつしたのか。

答 教育指導課主幹 令和6年5月21日に連絡ツールを通じて行った。

問 今年度の説明は。

答 教育指導課主幹 令和7年9月初旬にホームページへ掲載済み。11月20日も予定。

問 制服の値段は。

答 教育指導課主幹 ズボン一式1万5370円から1万7540円。スカート一式1万8300円から2万790円。

問 小学校の制服義務は県内に何

校あるか。

答 教育指導課主幹 嘉手納町の他に4校ある。

問 嘉手納町の制服は義務か。

答 教育指導課主幹 義務ではなく、各学校に委ねている。

問 嘉手納町の小学校制服を自由化できないか。

答 教育指導課主幹 学校長へ意見を伺い、状況把握する。

嘉手納野球場の整備について

新しくなった嘉手納野球場はスポーツツーリズムでの使用を考えているとのことだが、使用する団体や町民のために質問と提言をしたい。

問 マウンドやベース廻りの土の質が悪いと感じるが対応は。

答 都市建設課長 メンテナンス確認が必要。

問 マウンドやベースのカバーがけの効率が悪い。それぞれの箇所が分かる対応と、一輪車の変更を。

答 社会教育課長 各塁のカバーへ分かりやすい表示をする。一輪車はリヤカーへ切り替える。

問 ブルペンへ屋根の設置を。

答 社会教育課長 関連課と検討

を進める。

問 球場敷地へ車両進入ができないのはなぜか。道具搬入のために検討を。

答 社会教育課長 子ども達を含む利用者の安全のため原則車両乗り入れは禁止。道具等の搬入については、管理者が認めた場合に限り例外的に許可。

問 球場に客席を映すカメラがあるが、現在は使用できない。使用できるように。

答 社会教育課長 管理者の配慮で使用できなかったが、プライバシーを守って活用していきたい。

問 町外団体の利用規約は。町民が利用できなくなっていないか。

答 社会教育課長 町外は、毎月15日から翌月分を予約受付開始。大会や合宿、キャンプ等は早期予約が可能。

問 現在、町民が日曜日で予約できる日は3月8日以降となっている。異常な事態だと思つ。

答 社会教育課長 スポーツツーリズムで大会、キャンプ等誘致を進めている。今後関係課と調整する。

問 観戦するベンチの増設を。

答 都市建設課長 増設が必要かは検討する。

問 スポーツツーリズムでの使用を考えるのなら、駐車場の増設を。

答 都市建設課長 駐車数は現状維持。大規模なイベント開催は臨時駐車場の確保やシャトルバスの運行、公共交通機関利用促進を想定。

問 サブグラウンドは必要か。

答 都市建設課長 スポーツツーリズムの推進のためにも必要。

問 今後維持管理も必要になる。一般財源を使ってまで町民のために必要か。キャンプ以外に使うのか。

答 都市建設課長 町内も含め利用頻度が増え、事業促進を検討する。



嘉手納野球場



福地 義広

詳しくは動画を Check →



嘉手納基地からの 連日の大音量放送について

問 大音量放送の理由及び町民からの苦情等は届いているか。

答 基地渉外課長 沖縄防衛局からは、平日の7時30分、17時及び22時に部隊への号令として国歌を含めた放送が行われているとの回答があった。なお、大音量に関する苦情は令和6、7年は0件である。

問 苦情が寄せられたときの対応は。

答 基地渉外課長 寄せられた苦情について、沖縄防衛局を通じて米側に住民生活への影響を訴えている。騒音や悪臭だけでなく、基地内放送等に対し寄せられる苦情についても、沖縄防衛局を通じて米側へ周知し、機会あるたびに住民生活へ配慮を行うよう申し入れている。

猛暑対策について

問 町内での、猛暑による熱中症救急搬送数及び対応、事後の状況等について伺う。

答 町民保険課長 町内での、熱中症による緊急搬送数は、ニライ消防によると8月20日時点で10件（救急隊が熱中症と疑って搬送した数。事後に医師診察で別傷病となる可能性あり）。町内での熱中症による死亡の情報は無い。県内では5名の死亡例を確認している。

問 今後の沖縄の夏の気温についてどのような見通しを立てているか。また、エアコン使用による電気代がかさむと思われるが、猛暑対策として電気代を補助してはどうか。

答 企画財政課長 関係機関情報等によれば、今後も夏季の気温は上昇していくと予想される。猛暑対策の一環としては、経済的負担軽減を考えている。これまで国の補助金を活用しての直接的な電気代の補助はないが、支払いに関する生活の負担軽減を図っている。今後は、状況を注視しながら国の補助金等も活用し、よりの確に町民の負担軽減を図っていくと考えている。

減を図っていければと考えている。

学校等行事における 爆音被害の軽減について

j 日曜日の訓練飛行は差控え、任務の所要を満たすために必要と考えられるものに制限される。慰霊の日のような周辺地域社会にとって特別に意義のある日については、訓練飛行を最小限にするよう配慮する。

※嘉手納飛行場及び普天間飛行場における航空機騒音規制措置に関する合同委員会合意について（平成8年3月28日外務省）より抜粋

問 前定例議会において、学校等の行事における爆音被害軽減のため、「嘉手納飛行場における航空機騒音規制措置」3.措置」に基づく米軍への申し入れを進言した。どのような手だてを行ったか。

答 教育指導課長 申し入れについては、慰霊の日のような周辺地域社会にとって特別に意義のある日をどのように捉えるかが課題である。現段階において、学校行事のみならず各種のイベント開催にも関わることから、町全体として申し入れを行うか

どうかを考える必要があると捉えているが、現時点で申し入れは考えていない。

問 県議会の派遣議員による沖縄防衛局や外務省沖縄事務所に申し入れをした際の令和6年5月23日付報告書によれば、当時の伊藤沖縄防衛局長及び宮川外務省沖縄事務所全権大使は地域の行事に配慮を求めることについて引き続き努力していくと明言している。卒業式、入学式のみならず、期末試験等の行事についても申し入れることは可能だと考える。申し入れる考えはないか。

答 教育長 卒業式及び入学式については、これらの行事が人生の節目を祝う重要な式典であり、厳粛な環境の下で進行されることで、その意義がより深く心に刻まれる。この厳粛さが損なわれることは、行事目的が達成できず、卒業式及び入学式の儀式的行事のみ要請している。その他に、単独要請よりも沖縄県教育委員会が県内市町村の考え方を取りまとめ要請することに協力していきたい。単独で要請するというのは効果的ではないと考えている。



田崎 博美

詳しくは動画を Check →



子ども子育て支援事業について

問 保育所の入所判定は、「町が定めた配点基準」「兄弟姉妹の同じ保育園への入園希望」等といった条件を組み合わせる保育所を割り当てている。これらの作業を人の手で行っているために、どうしても膨大な業務量になっているようである。このことを前提に、保育所入所の条件を伺う。

答 子ども家庭課長 本町に居住する0歳児から就学前の児童で、保育を必要とする状況がある場合に保育の必要性の認定を受けた上で、公立・私立を含めた認可保育園等の定員数の範囲内で入所の可否を町が判断する。

保育の必要性とは、保護者が働いている、就労の見込みがある、出産を控えている、家族の介護を要する状況にある、就学中であることが挙げられる。

これらが保育を必要とする理由として適切であると判断し、認定した者に対し、保育所の入所審査を行っている。

問 令和7年度の書類配布、申込期間、提出先について伺う。

答 子ども家庭課長 令和7年度に実施する保育所等への入所申込は、令和8年4月に入所を希望する児童について申請書類の受付を行う。9月24日より書類の配布を行い、10月1日から10月31日までを申込期間として設定。提出先は役場となり、10月17日（金）及び10月31日（金）については、19時までの夜間受付を行い、10月26日（日）については、午後1時から5時まで休日窓口設置を予定している。

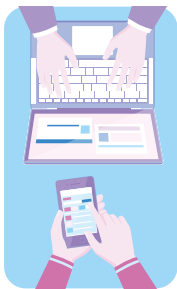
問 応募者の割り振り期間と応募の結果発表について伺う。

答 子ども家庭課長 保育所申込期間終了後、11月から約2か月間で申請書類の内容確認、入所審査、データ入力、保育所への調整等を行い、12月頃入所選考会を実施。令和8年1月下旬頃、入所選考会で決定した内容

で保護者へ通知の送付を行う。その後、各種オリエンテーションや面談等が実施され、4月の入所を迎える、という予定をしている。

問 大幅な業務効率化が実現できる、生成AI（人工頭脳）を活用した保育園マッチングサービスの導入検討はできないか伺う。

答 子ども家庭課長 保育所の入所事務に関しては、推察どおり対象の書類の入力作業等が膨大な作業量となっている。現在、子ども家庭課で、保育所等の入所手続き等に関して電子申請が可能となれば、業務量の軽減はもちろんのこと、町民のみならず、まの手続きの負担も軽減される。担当課としては、電子申請の導入について優先的に準備を進め、今後必要に応じてマッチングシステムの導入について検討していきたいと考えている。



草木の処分方法について

草木は単なる焼却、埋め立て

処分をするのではなく、再利用やリサイクル、草木をチップ化することにより、ごみの減量化、ゼロエミッションにつながる。経費のコスト削減を図り、環境保全していくことでSDGsの理念の構築にもつながり、未来への扉を開くものと思慮できる。

問 令和6年度の草木の搬入量と委託料について伺う。

答 産業環境課長 令和6年度の搬入量は685トン。委託料については、草木回収業務が697万6122円、草木破碎業務が565万1824円となっている。合計で1263万956円となる。

問 草木処分場使用許可証の発行場所と計量場所について伺う。

答 産業環境課長 町役場産業環境課窓口で許可証を発行している。計量場所については環境美化センターとなっている。

問 草木処分場の使用日時について伺う。

答 産業環境課長 祝日、年末年始を除く月曜日から金曜日までの午前9時から11時45分まで、午後1時から4時45分までとなっている。



奥間 常明

詳しくは動画を Check →



嘉手納町地域防災計画及び
国土強靱化地域計画について

沖縄周辺の地震発生状況は令和6年時点で、震度3以上5回を含む約1万3500回、また、全国地震度予測では、2050年までに沖縄本島においては、約26%の確率で震度6弱以上の揺れに見舞われるであろうというデータが出ています。本町において想定される大規模自然災害沖縄本島南西沖地震、震度5弱から5強の揺れが予想され、比謝川河口で津波遡上高3・8m、津波到達時間26分で、被害想定全壊1戸、半壊2戸、床上浸水100戸、床下浸水92戸。さらに東北地方太平洋沖地震クラスが発生したと想定した場合、最大遡上高9・3m、津波到達時間25分。全壊689戸、半壊120戸、死者数32人、負傷者数442人の被害想定調査結果が示されている。これらを踏まえ、避難・孤立化等に強い人づくりが必要である。

また、住民への不安と恐怖を煽るつもりはないが、水釜562番地旧製糖工場跡地一帯についても、地域住民から大変心配する声がある。そこで次の何点かについて伺う。

問 避難・孤立想定訓練は。

答 総務課長 現在のところ実施にいたっていない。しかしながら、防災計画にある非常通信や応援の要請に係る各関係機関との体制構築については、県防災危機管理課や気象台、沖縄総合事務局とも連携がとれるよう協議を行っている。

問 知識の普及は。

答 総務課長 災害時に必要となる自助、共助、公助の自助の部分について、必要となる食料確保等に係る知識の普及は、令和2年度に先行配布した防災マップへの記載や、町広報誌への特集記事掲載、各種団体出前講座等で周知啓発に努めている。

問 自主防災組織の育成は。

答 総務課長 自治会において

も、防災備蓄品の点検や防災講座の実施など防災関連の活動が活発になっており、必要な支援、協力に応えられるよう努める。

問 消防団の高度化は。

答 総務課長 ニライ消防本部において、年間を通して計画を立て訓練を実施しているほか、消防学校への派遣も行い、知識や技術の向上に努めている。

問 災害時要援護者安全確保体制整備計画、社会福祉施設等における安全確保は。

答 総務課長 自力で避難できない高齢者や障がい者・児、乳幼児が入所または通所している福祉施設等で特に高潮及び津波浸水想定区域内の要配慮者施設、介護サービス事業所・障がい福祉サービス事業所は災害時等において安全確保と事業継続が行えるようにその計画に従い措置を講じる。

問 不特定多数の者が利用する施設における安全確保は。

答 総務課長 高齢者など自力避難が困難な方も考慮し、施設の把握、管理者との連携を図っていききたい。また、コミュニティセンターを含む公共施設

においては、消防施設と附属設備の点検も定期的に行っている。

問 在宅で介護を必要とする町民の安全確保は。

答 総務課長 避難行動要支援者の登録申請をしていたき、登録後、個別避難計画を作成する。災害発生の恐れがあるときは、その計画に基づき支援を行う。

問 ボランティア育成は。

答 総務課長 小・中学校では、地域清掃活動・福祉体験を通じて取組んでいる。社会福祉協議会は、小・中・高校生を対象に体験授業を通して意識の醸成を図っている。成人については実施されていない。



常日頃から、防災意識を忘れずに！



照屋 唯和男

詳しくは動画を Check →



嘉手納町有財産久得拝所地の
久得郷友会への真正なる
登記名義の回復を

問 町の主張する公有財産の適法、適切な管理とはどのような状況を指すのか。

答 総務課長 町の所有権を否定するに足る理由がないままに、町の主観的な判断、あるいは恣意的な判断により所有権の放棄を行わないということ。

問 拝所に対して町は、清掃や維持管理、建築物の設置、敷地の確認等を行っているという理解でいいのか。

答 総務課長 現在、物理的な維持管理については行っていない。久得郷友会が維持管理を行っているとすることは理解しており、その活動については敬意を払うところである。

問 協議する場を持たずに調停不成立の申出をすることは妥当な対応なのか。

答 総務課長 調停に応じること自体が、これまで客観的判断が必要であるとしてきた本町の立場を覆す行為となり得るため、これに応じることはできないとしている。

問 客観的な状況、根拠を説明するために、中立的な立場の調停委員を置いてやり取りを行おうとするのが、その調停申出の意思である。

答 総務課長 我々がその話に乗った時点で、土地の所有権が久得郷友会にあるということに恣意的に認めるというようなことになるので、現在の趣旨であれば、その調停には乗れないということ述べている。

問 久得郷友会は話し合いをする場を持ちたいが、その場を設ける方法はあるか。

答 総務課長 拝所の存続の方法を話し合うというような論点であれば、調停に対する対応について可能である。

問 久得郷友会が真正なる登記名義の回復の要請に係る経緯、趣旨については承知しているという答弁があるが、その真意は。

答 総務課長 久得郷友会からの要請に係る経緯、趣旨については承知しているが、その内容について我々が同意しているということではない。

問 町の所有権登記にいたった経緯を説明できるか。

答 総務課長 所有権登記にいたった経緯は、承知していない。現在、登記された昭和29年以降、70年余に渡って町が所有権を有している状況である。

町の活性化計画を 推進する施策を

問 町の中心地での土地の表面活用が限られている中、地下駐車場を設置する推進工法の活用計画の考えはあるか。

答 都市建設課長 地下駐車場整備ができる土地がない。さらに整備費用に関しても莫大な費用が必要となり、難易度が高いと捉えている。

問 専門的な人にアドバイスをもらう必要はないか。

答 都市建設課長 公共施設等の建て替えや新設など、その際にできるのかと考えることも可能。



ビルの地下駐車場

問 町内の重要施策の計画を推進できる人材の確保に取り組みたいか。

答 総務課長 職員としての採用、あるいは特別職として委嘱を行う方法が考えられる。

問 調整官を配置する要綱などはあるか。

答 総務課長 課に属しない職員という項目に総合調整官として、嘉手納町行政組織及び事務分掌規則に定められているため、これについては置くことができるかとされている。

問 国土交通省の出向要請の制度をうまく活用できないか。

答 企画財政課長 関係省庁から人員派遣制度というのが多々ある。各事業推進課の中において、必要なところについて相談があれば、その中で対応したい。



仲村 龍也

詳しくは動画を Check →



ビーチ計画方針について

問 以前のビーチ計画方針はあったのか伺う。

答 都市建設課長 兼久海浜公園リニューアルに伴い、旧ゲートボール場側を海の広場として整備するイメージを持っていたが、嘉手納マリーナ・米軍・県との調整に時間を要すると考えられるため見送った。

問 今後のビーチ計画方針について伺う。

答 都市建設課長 計画自体はある。旧ゲートボール場側を海の広場として整備可能なように、大きな構造物はできるだけ設けず、別機能を模索していく。

問 海の広場計画はあるが、今回の兼久海浜公園リニューアル工事では見送ったことは、町民へ周知されているのか伺う。

答 都市建設課長 令和7年3月

の報告会では、海の広場に関する状況説明はしていない。

体育館空調機器の稼働について

問 体育館空調機器の稼働条件を伺う。

答 教育総務課長 重要な式典や全校集会等、児童生徒全員が長時間にわたり体育館に集合し、活動を行うことが予定されている場合に稼働を認めている。

問 学校生活以外での空調機器の稼働状況について伺う。

答 教育総務課長 料金規定を定めていないことから、学校生活以外での空調機器の使用を認めていない。例外的に、参議院議員選挙開票作業で体育館を使用したときは空調機器を稼働させた。

問 空調機器稼働の例外的とは何か伺う。

答 教育総務課長 教職員の研修会やPTA総会等、学校行事に関する使用例がある。

問 嘉手納町体育協会主催の各区対抗バスケットボール大会での空調機器稼働は可能なのか。

答 教育総務課長 原則は講堂の

使用に限る。スポーツ大会で使用する場合に料金徴収する規定がない。今後は、料金規定を定めていく検討をしていく。

問 兼久体育館空調機器の稼働条件を伺う。

答 社会教育課長 他施設同様に、利用料金をお支払いいただくことで稼働は可能となる見込み。

避難所の設備について

問 避難所のコンロ設備について伺う。

答 総務課長 本町において災害時指定避難所として19施設が指定され、全施設に給湯室が備わっている。その給湯室にガスもしくは電気式コンロが設置されている。各避難所の防災備蓄品としてカセットコンロもある。

問 避難所の給湯設備について伺う。

答 総務課長 指定避難所の内、屋良地区体育館・図書室を除き給湯設備がある。屋良地区体育館・図書室の改修工事では、給湯設備の設置を検討している。

問 給湯設備以外でのお湯の確保

について伺う。

答 総務課長 コンロでお湯を沸かすことで、お湯の確保はできると考えている。

問 避難所の電力確保について伺う。

答 総務課長 指定避難所における自家発電機能を備えた施設は、総合福祉センター、ロータリープラザ、さんさん保育所の3施設。コミュニティセンターは北区、南区、西浜区において、停電時にも太陽光発電による一定量の電力供給が可能。プロパンガスを利用した発電機の導入を検討している。

問 電力不足は避難所生活の質と安全に直結する深刻な問題だと思う。個人のスマートフォンは電力確保は。

答 総務課長 スマートフォンの電力確保などについては必要と思われる。





当山 均

詳しくは動画を Check →



**青少年の大麻など違法薬物
乱用防止に向け取組強化を**

沖縄県警によると、令和7年上半期（6月末）、違法薬物事犯で89人が検挙され、罪種別では大麻所持を含む麻薬事犯が70人と全体の約8割を占めている。年齢別では10代（24人）と20代（29人）を合わせた検挙人員は全体の約6割を占めている。近年SNS経由で安易に入手でき、若年層への大麻等の薬物汚染は深刻な状況にある。



ダメ。ゼッタイ。普及運動

問 町及び教育委員会が主となり、小中学校・各校PTA、高校・高校PTA、青少年センター・青少年健全育成協議会、自治会、青年会、子ども会育成会、保護司会嘉手納支部、更生保護女性会等の団体を網羅した「（仮称）青少年違法薬物乱用防止町民会議」を結成し、警察と連携して継続的な啓発活動など取組み強化を提案する。

答 教育指導課主幹 9月18日に開催する生徒指導連絡会で、情報提供しながら議論していきたい。嘉手納高校及び読谷高校の校長・生徒指導担当の先生、PTA会長も構成メンバーとなっているので、両校と丁寧話しあつたうえで、提案の件は検討していきたい。

答 教育長 どの学校、どの児童生徒にも起こり得るものである。決して対岸の火事ではなく、本町にとっても自分事として捉えるべき喫緊の課題である。

提案については、何らかの形で啓発活動を進めていきたい。

**社交業開業者への
支援拡充を**

近年、居酒屋・タコス専門店・焼き鳥店・お好み焼き屋、スナック、ダイニングバー、BAR、ライブハウス等多様な飲食・社交業が次々と新規開店し、夜の賑わいを取り戻しつつある。

現在、飲食・小売・サービス業を開業した者へ各種補助金を交付して応援する「事業者立地支援事業」を実施しているが、社交業開業者へも支援を求める。

問 新たに、社交業開業者に対する支援制度の創設を求める。

答 産業環境課長 かでな元気プロジェクト「やる気支援事業」において、社交業を対象とした支援事業を開始する予定で、現在、町商工会において実施要項を作成中。10月上旬にかけて制度を説明し募集していきたい。補助率90%、限度額10万円。

**野球場周辺等整備事業
基本計画について**

問 計画しているトレーニング施設の規模・トレーニング器具・レイアウト等はこの市町村の施設をイメージしているか。

答 企画財政課長 読谷村のト

レーニング室（280㎡程度）、那覇市のセルラースタジアム横にあるトレーニング室（303㎡）をイメージしている。

問 本町の人口規模を踏まえ、各ゾーンの面積及びバランス、器具の種類・台数は身の丈に合った適正な計画か。

答 企画財政課長 本町の人口規模を踏まえ、過大な投資、機器の種類や台数についても過大にならないよう図っていきたい。

問 6レーンもの投球練習場整備は本場に必要か。現野球場敷地内に増設できないか。

答 企画財政課長 横浜DeNAベイスターズからは「投球練習場は最低4レーン、可能であれば6レーンが望ましい」との意見を頂いている。

問 サブグラウンドは陸上競技場裏の駐車場へ整備できないか。

答 企画財政課長 現在、野球場駐車場へ想定しているサブグラウンドの大きさ（48m×46m）を確保するには、陸上競技場駐車場は手狭であり、十分なスペース確保が難しい。

投内連携を含めていくと、やはり45m×45m以上は欲しいとの要望があった。

福祉の充実を



古謝 友義

詳しくは動画を Check →



問 町内に車椅子で生活している人数は把握しているか。

答 福祉課長 49名。

問 車椅子で搭乗できる車両の購入補助はあるか。

答 福祉課長 購入補助はない。

問 なぜ「スマイル号貸付事業」が廃止になったのか。

答 福祉課長 平成12年度に町の補助金を活用して社会福祉協議会において車両を購入。平成29年度に車両の老朽化により廃車し、事業も終了となった。

問 継続は考えなかったのか。

答 福祉課長 利用者が2、3名であること、介護タクシーの利用も可能であることから、継続にはいたらなかった。

問 本来は福祉課がやるべき事業ではないか。

答 福祉課長 社会福祉協議会が

実施主体として行っていたものである。

問 今後、車椅子搭載車両を購入して事業を再開できないか。

答 福祉課長 実施主体である社会福祉協議会と協議が必要である。

問 町民からの要望はないか。

答 福祉課長 福祉課への問い合わせはない。社会福祉協議会へは1、2回問い合わせがあった。



車椅子搭載車両

公共工事の進捗状況を問う

問 水釜第2町営住宅の完成時期は。

答 都市建設課長 令和8年1月末を予定していたが、大雨等で当初の完成が困難となっている。

問 増加分の入居者募集はいつ頃

を予定しているか。

答 都市建設課長 広報かでな5月号において、町営住宅空き家待ち入居募集の周知を行い、6月1日から6月30日までの1か月間募集を行い、9月10日に抽選を予定している。

問 既存の入居者の引っ越し費用の補助はあるのか。

答 都市建設課長 既設入居者に対しての引っ越し費用については、町が引っ越し業者と契約を行うことを検討している。そのため、既設入居者に対して費用の持ち出しがないよう検討している。



水釜第2町営住宅 完成予想図

問 既存物件の解体時期は。

答 都市建設課長 令和8年度にB、C棟、令和9年度にA、D棟を解体予定。

問 駐車場の完成時期は。

答 都市建設課長 外構工事を含めて令和10年度完成予定。

問 兼久体育館の完成時期と供用開始時期は。

答 都市建設課長 当初令和7年度の完成を予定していたが、磁気探査で異常点の確認に想定以上の時間を要したことから、大雨によるコンクリート打設の延期等があり、年度内完成が困難となった。現在、防衛局と調整を図っている。

問 兼久海浜公園総合運動場の工事は野國總管まつりに間に合うか。

答 教育総務課長 令和7年8月末現在、工事全体の90%を完了している。残りは周辺園路の舗装工のみであり、9月12日に工事が完了する予定。野國總管まつりの開催に支障はない。



兼久体育館 完成予想図



安森 盛雄

詳しくは動画を Check →



暑さ対策強化を問う

問 家にいると一日中エアコンをつけていることもあり、電気代が非常に心配である。エアコンをつけなければ熱中症にかかることもある。特に、高齢者等は非常に心配である。そこで、町として全世帯に補助等を検討できないか。

答 企画財政課長 電気料金の直接的な支援については、国が実施している電気・ガス料金支援により、令和7年7月から9月使用分までを対象に実施されている。沖縄県においても、LPガス料金高騰に対する支援を実施しており、令和7年7月分から9月分を10月請求分から値引きするという形で行っている。

本町としては、電気料金に対する直接的な補助ではなく間接的な支援となるが、プレミアム

付き商品券事業補助金を実施したいと考えている。さらに、嘉手納町生活支援商品券配布事業についても、1世帯当たり5000円の商品券を配布し、物価高、エネルギー価格の高騰による影響を受けている町民のみなさまを支援していきたい。

問 国が電気・ガス供給会社に対し補助を出しているのは承知しているが、約3000円だと現実味がないように思えてならない。嘉手納町は防音工事もしているが、うるさいから窓を閉めてエアコンをつける。物価高騰と電気代は別物だと考えるが、町としても検討する必要があると考えるがどうか。

答 企画財政課長 これから秋口になれば暑さも落ち着き、また来年に向けて同じような暑さが出てくる。まずは国等の補助を活用しながらになると思うが、財源を確保しつつ現在の状況、来年の状況も注視し、引き続きの対応の検討が必要だと考えている。

過去に全議員で提案した
下請け孫請け等について問う

問 以前に全議員で提案した、下請け・孫請け・飲食等を含めた案件はその後どのようなになっているか。

答 都市建設課長 令和5年4月27日の臨時議会において、地元業者優先発注により地域経済の活性化を図ることを目的として決議されたものであるが、極力町内業者への発注を依頼しているところである。

問 行政としてチェックは行われているか。

答 都市建設課長 確認については、受注業者に施工体制台帳の提出を義務付けており、そこで確認をしているところである。また、個人商店等のものに関しても資材や弁当に関して極力使うようにということ、実際に使っていることも確認している。

旧中央公民館通りにある
住宅の崖について問う

問 最近の国内の地震や豪雨等でも心配だという声が上がっている。以前から議員が質疑しているが、どのような対策を講じているのか伺う。



住宅地の被害状況

答 都市建設課長 字嘉手納184番地2の北側の崖地のことと認識している。台風接近時や大雨警報等発令時においてその都度訪問し、少しでもおかしいと感じたら役場へ避難するよう伝えられている。現在、町営住宅への移転について、どのような方策がとれるのか検討している状況である。



志喜屋 孝也

詳しくは動画を Check →



ロータリー広場・
新町通りの街灯・防犯灯の
不点灯について



新町通り



ロータリー広場

不点灯で改善が待たれる街灯・防犯灯

切れ、絶縁不良、タイマー不良の3つとなっている。

問 町内の街灯・防犯灯の不点灯は何か所あるか。

答 都市建設課長 道路10か所、公園4か所である。

問 不審者の情報はないか。

答 都市建設課長 不審者に関して連絡は受けていない。把握無し。

問 修繕完了予定日シールへの変更は。

答 都市建設課長 情報を提供できるように、現地の方で掲示。

介護ロボットについて

問 介護ロボットの分類は。

答 福祉課長 移乗支援・移動支援・排泄支援・入浴支援・見守り、コミュニケーション・介護業務支援・機能訓練支援・食事、栄養管理支援・認知症生活支援、認知症ケア支援。

問 介護ロボットのメリット・デメリットは。

答 福祉課長 最も大きなメリットは、介護者の作業負担を軽減できる点。移乗・移動・排泄介助など、身体的負担が大きい作業をサポート、介護者の腰痛や

疲労を防ぎ、業務全体の効率化を図れる。デメリットは高額な初期コストが課題である。

問 国・県からの補助金や助成金の内容は。

答 福祉課長 沖縄県では介護テクノロジー定着支援事業補助金を実施。補助金の交付額は、補助対象経費に4分の3を乗じた額と基準額を比較して少ない方の額。この事業は国及び県の補助金で県が実施主体。県へ直接事業所が申請する仕組み。

問 町内老人ホームの介護ロボットの補助金活用は。

答 福祉課長 老人ホーム2施設で介護ロボットを使用。移乗支援に係る機器や見守りセンサー等で沖縄県の補助金を活用し、導入している。

問 移乗介助HAL介護支援用・腰痛予防ロボットの今後の調査研究の内容は。

答 福祉課長 介護人材の確保が喫緊の課題。介護テクノロジーの導入を通じ、介護現場の生産性向上や職員の負担軽減、介護サービスの向上と働きやすい職場環境づくりに関し、現場のニーズや補助金の活用等、今後調査していく。

野球場のミストシャワー活用について

問 ミストシャワーはどのように活用しているのか。

答 社会教育課長 一塁側及び三塁側ダグアウトに設置。熱中症対策として、利用者の判断により活用。

問 消毒・管理の内容は。

答 社会教育課長 上水道使用。使用後1週間程度は水道水に含まれる塩素が残留しているため、雑菌が発生しにくい。現在、断続的に使用し水道水は循環され、特別なメンテナンスは不要。

問 兼久海浜公園リニューアル後にもミストシャワーを取り付け活用するか。

答 都市建設課長 以前、実施設計後の報告会において議員より指摘があり回答したが、リニューアル後のミストシャワー設置は現在検討していない。議員以外の町民から要望はない。遊具に屋根があり、夏季の一部期間しか使用しない。体育施設（野球場）は管理人が常駐しているが、公園施設は人が常駐しているわけではないため、管理の状況が異なる。



髙原 妙子

詳しくは動画を Check →



「嘉手納町女性デジタル人材育成事業」について

令和5年6月定例会の一般質問で、女性の就労支援、女性の経済的自立、デジタル分野におけるジェンダーギャップの解消等を目的とした「女性デジタル人材育成プラン」について質問をした。先の6月定例会の一般会計補正予算（第1号）において委託料が計上された。今後、嘉手納町の働く女性がスキルアップして生活向上へ向かうことを願う。

問 タイムスケジュールと現時点での課題は。

答 産業環境課長 キックオフセミナーを9月27日に予定。女性のためのキャリアデザインセミナー及び事業説明会を実施し、その後、受講者の募集を行い、11月中旬から翌2月末まで2週間30分の支援講座を24回実施する。講座の主な内容は、マイクロソフトオフィスの基礎、生成AIの活用、デザインツールの入門、ウェブ制作入門、動画編集入門等を予定している。

課題は周知活動。新規事業のため、20名予定の受講者が集まるかが課題。LINE、図書館で、幼稚園、小学校、中学校の保護者や保育所の保護者へ向けて周知を図りながら受講者を募っていく。

問 であれば伴走型、寄り添い型で、女性の就職へつなげるという目標を掲げているのか。

答 産業環境課長 就職を求めている方も対象だが、在職の方でも対象であり、自分のスキルアップとして考えていただき、手当増や、将来的な転職などを考えながら進めていく。



高齢者外出支援について

問 町高齢者外出支援事業は平成21年から実施されているが、登録者数は5名である。少ないと感じるが。

答 福祉課長 高齢者外出支援事業は申請による事業となる。

問 令和7年3月定例会の一般質問において、民間の介護タクシー事業者に対し、助成金や町のタクシーチケット利用を要望した。その後も町民の方々からの期待の声がある。

答 福祉課長 外出支援タクシー料金助成事業で交付しているタクシーチケットは、タクシーの乗降に介助の必要がない方が対象であり、一般の交通機関、タクシー利用となっている。介護タクシーは、一般の交通機関を利用することが困難な方と対象者の状態に違いがあり、現在は厳しいと考えている。

子どもの貧困対策、子ども食堂について

問 町内で「みらいチケット」を導入している店舗はあるか。

答 子ども家庭課長 沖縄こどもみらいチケットは、経済的な事情等により十分な食事を取ることが難しい子どもたちを支援することを目的とした取組である。現在町内では、西浜区と南区に1店舗ずつ「みらいチケット」と同様なシステムを導入している店舗がある。

問 今年5月26日に、県外の事業者から3万7560食の寄贈食品を県が受けたが、嘉手納町はこれらを受け入れたか。

答 子ども家庭課長 本年2月に県外の事業者から沖縄こどもの未来県民会議へ防災備蓄食の寄贈があり、5月26日に県庁において贈呈式が実施された。本町は2月中旬に段ボール5箱分、250食の防災備蓄食をゆうパックにて受け取っている。

町内の子ども食堂を運営されている団体や、支援を必要とする子育て世帯に対して配布を行った。社会福祉協議会と町内の子ども食堂にそれぞれ50食分ずつ配布。その他は、スクールソーシャルワーカーや子ども・子育て支援コーディネーター、児童家庭相談員等から支援が必要な世帯へ配布した。



知花 賢幸

詳しくは動画を Check →



米空軍嘉手納基地の機能強化 による負担増大について

米軍パラシュート降下訓練が「例外的措置」によって、小規模ではなく常態化して実施されている。また、旧海軍駐機場において、使用が恒常化しつつ騒音軽減イニシアティブに反して航空機による使用禁止のSACO合意が遵守されていない。8月4日、嘉手納空軍基地所属のF15E米軍戦闘機が車輪の欠落した状態で緊急着陸する事故が発生した。さらには、無人偵察機MQ4Cトライトンの配備、来春予定のF15EXの配備計画などがある。

このように、米空軍嘉手納基地の機能強化は着々と進み、基地負担の軽減とは逆に負担が増してきており町民は不安や恐怖、怒りが頂点に達している。

問 町民の生命、財産の安全及び平穏な生活を守るために嘉手納町としてこの現状をどう捉え、対応を考えているのか伺う。

答 基地渉外課長 現在の嘉手納飛行場の運用状況を見る限り、負担は軽減されるどころか増加していると言わざるを得ないと考える。これらの嘉手納基地から派生する諸問題については、引き続きその動向を注視するとともに、その状況を見極めながら、必要に応じて本町独自、または三連協として周辺住民に対する基地負担の軽減について、強く申し入れていきたいと考えている。

問 旧海軍駐機場に対し、今後どのような対応をして取り組んでいくのか伺う。

答 町長 旧海軍駐機場の問題については、町としてもその使用についてとても大きな問題だということと、今回も様々な航空機が使われたときには嚴重に抗議をしてきた。何十年も騒音被害で苦しめられてきた旧海軍駐機場周辺地域のみなさんへ、やっとSACO合意で旧海軍駐機場が滑走路の反対側に移設されて、ようやくその日常的に発

生する騒音あるいは悪臭から解放されているので、二度とあのような苦しい思いを地域のみなさんにさせてはいけないというのが町としての基本的な考えである。

この件については、早速、沖縄防衛局の方に強く要請をしてきた。その結果、沖縄防衛局を中心に米軍側とも調整をし、現在はその使用が行われていないということである。町としても、引き続き状況を注視し、何か問題があれば、その解決に向けてしっかりと対応していきたい。

ケンタッキー前の南向けバス 停留所の屋根の設置について

問 2月10日、議会と住民との懇談会でバス停留所の屋根設置の要望があった。要望に対し、沖縄県バス協会へ町として設置の検討をしてほしい要望書を提出したが、いつ提出されたのか伺う。

答 都市建設課長 令和7年8月22日に提出済み。

問 進捗状況はどうなっているのか伺う。

答 都市建設課長 屋根の設置については、バス停から少し離れた位置で幅員が確保できる場合、上屋根を設置している事例を読谷村、北谷町の方でも確認できている。同様な検討は可能かと南部国道事務所に問い合わせたところ、可能であると回答があった。幅員が確保できる箇所を確認できたので、検討を進めていければと考えている。

問 今後の屋根の設置についての見通しを伺う。

答 都市建設課長 沖縄県バス協会からの回答文書において屋根の設置が不可となった場合は、南部国道事務所を検討していただけのこととなっている。沖縄県バス協会から9月下旬頃までに回答を受けて、その後の見通しに関して報告できるかと考えている。



海浜公園前バス停留所



仲村 兼栄

詳しくは動画を Check →



特殊詐欺・闇バイト対策は

振り込め詐欺は県内においても連日発生し、警察や金融機関で対応しているが解決にはいたらない状況。本町は高齢化率が高く独居老人宅へ「なりすまし電話」等が予想される。町としての取組と対策について伺う。

問 特殊詐欺の対策は。

答 総務課長 本町独自での対策ではなく、嘉手納警察署、地区防犯協会と連携して未然防止を図っている。

問 教育委員会の対策は。

答 総務課長 現時点で対策はしていないが、嘉手納警察署と連携して注意喚起を行っている状況。保護者連絡ツール（テトル）の配信は行っている。

問 小中学校へ講習会の開催は。

答 総務課長 提案を参考に今後、学校とも連携を取りながら

授業参観等で子ども向け、保護者向けの講話等を検討したい。

問 県内の芸人を活用する予定は。

答 総務課長 内容を確認し、教育委員会内で検討して前向きに取り組みたい。



特殊詐欺等の告知ポスター

住宅相談会を問う

8月30日に、「嘉手納町住まいのコンシェルジュ事業」「住宅相談会、住宅セミナー」が開催された。当日は予約制で、対象者は町に不動産を持っている方で専門家。セミナー講師が住宅問題等について分かりやすいセミナーを行ったと聞く。3点伺う。

問 「住まいのコンシェルジュ事業」とは。

答 企画財政課長 住まいに関する悩みや課題を、行政による相談窓口を通じて専門家等へつな

ぎ、問題解決を支援する事業。

問 町民への告知方法は。

答 企画財政課長 告知は広報かでな・町HP・町LINE、大型ビジョン、琉球新報に掲載した。

問 総括と次回開催の予定は。

答 企画財政課長 町民が抱える住宅に関する悩み等について個別相談の場を実施し、深刻化する町の住宅問題等は、専門の方々による講演を予定計画したい。次回の開催は、今年度と同様な形式で実施するか課内で検討を進めたい。

中央区の空き家状況は

住宅相談会と空き家対策も同時に進行すべきと判断する。

問 中央区の空き家の把握は。

答 都市建設課長 令和3年度の調査では28件ある。次年度に、空き家対策計画策定に向け実態把握調査を実施し、各区の状況を把握する予定。

問 区民からの相談等は。

答 都市建設課長 空き家等から草木が生い茂っている等6件の相談がある。

問 今後の対策と対応は。

答 都市建設課長 次年度に空き家対策計画策定を行う予定。

問 専門家に相談する予定は。

答 都市建設課長 相続や登記、権利関係等の問題には、弁護士や司法書士等の専門家への相談も検討する。また、全国空き家対策推進協議会等に相談し、課題の解決を図っていきたい。

問 ニライ消防との連携は。

答 都市建設課長 色々な問題が生じているので、関係機関と密に連絡を取りながら対応したい。



草が生い茂る空き家

空き家バンク創設の予定は

問 国土交通省で展開している「民間事業者と連携した空き家対策の取り組み」と人口減少対策も絡めた事業の空き家バンクの予定は。

答 都市建設課長 次年度予定の空き家対策計画策定において検討する。



宇榮原 京一

詳しくは動画を Check →



義務教育に係る費用の

無償化を目指して

問 物価高騰が続く中、保護者の教育費の負担軽減を図る思いから見解を伺うが、本町の義務教育費に関わる助成金の現状は。

答 教育指導課長 ①給食費の無償化。②教材費の全額助成（小学校1年生1万7000円、小学校2年生1万6000円、小学校3年生1万1000円、中学校で1万3000円）③共済掛金の保護者負担分（小学校全体で21万8990円、中学校全体で9万3210円）、入学祝い金を支給し保護者の教育費の負担軽減を図っている。

問 本町が考える義務教育費無償化の概念とは。

答 教育指導課長 保護者から費用を徴収しない完全な無償化が概念として考える。

問 修学旅行費の全額助成を実現できないか。全額助成した場合財源負担額は幾らになるか。

答 教育指導課長 概算で小学校6年生361万2000円（1人／2万1000円）、中学校2年生1164万4000円（1人／8万1000円）、合計1525万6000円となっている。義務教育費の無償化に向けて段階的に推進する。

問 児童生徒のフリースクールに通う費用の助成支援は。

答 教育指導課長 フリースクール等に通う町内在住の児童生徒の保護者に対して町立小中学校の児童生徒と同様の額を上限に、給食費、教材費及び英検費用の補助を予定している。

第3次観光振興基本計画から

問 これまでの事業展開達成率と評価はどのように。

答 産業環境課長 第2次観光振興計画で全46のプロジェクトの内33実施し、13が一部実施と未実施。達成率は71%。観光協会との設立、道の駅かでな、比謝川自然体験センター等の観光交流拠点の充実。

問 まちづくり観光推進協議会の設立とは。

答 産業環境課長 掲げた目標や進捗状況の確認を行うため、観光協会、商工会、関係機関、町民の構成で協議会を立上げる。

問 嘉手納町観光協会の組織及び取組強化への支援とは。

答 産業環境課長 観光協会の自立のため、国県の補助事業等の活用、人材育成に支援する。

問 観光振興を行う上で役割分担の明確化とは。

答 産業環境課長 施策ごとに推進主体と関係部署、団体等を明確化し施策展開におけるスムーズな連携強化を図る。

問 観光ガイド育成事業の復活、人材確保について。

答 産業環境課長 観光協会と協議する。

公共駐車場の管理運営

方針の検討結果は

問 東駐車場と中央駐車場の料金見直し、東駐車場自走式立体駐車場増設の状況は。

答 都市建設課長 東駐車場への工作物の設置が可能か米軍へ申請をしており、また、立体駐車場

場基本設計を予算計上している。料金については、その中でどうするかを検討したい。



混雑緩和に向けた自走式立体駐車場の整備が検討されている東駐車場

問 行政センター駐車場の混雑慢性化の解消は。

答 総務課長 有料駐車場化への方針だが、防衛局の積極的な取組で改善されつつあり、状況を注視。

問 嘉手納町再開発駐車場の料金見直しの状況は。

答 都市建設課長 有料駐車場収支実績を考慮した上で、試算を行い、必要に応じて見直す。

問 新町駐車場（八茶坊前）の有料化としてコインパーキングの導入の検討は。

答 都市建設課長 事業者や商工会との話し合いの中で、運営方法を決めていきたい。

問 兼久海浜公園駐車場の適正な管理運営は。

答 都市建設課長 周辺事業者に対し、当該駐車場の適正利用について御協力をお願いしている。



新垣 貴人

詳しくは動画を Check →



町民の健康増進の 施策について

日本の社会保障制度として、国民皆保険制度は世界に誇れる制度だ。しかし、増大する医療費が市町村財政を圧迫する中、健康づくりの推進には町民の意識の啓発が欠かせない。本町でも、生活習慣病の予防、医療費支出の抑制は課題だ。健康増進の施策で町民の健康増進へのインセンティブとして、地域商品券や施設利用料等に交換できる健康ポイント制度の提案をしてきたが、調査研究の経過を伺う。

問 アプリを活用した健康ポイント制度を導入し、町民が運動してポイントを獲得した際、町内店舗で活用できるポイント制度を提案してきたが、状況は。
答 町民保険課長 産業環境課で

電子商品券の導入を検討中。アプリを活用し、健康ポイントを貯めることは可能だが、実施まで時間を要する。



健康ポイント制度のイメージ図

職員の適材適所への 配置と待遇について

地方公務員の職種は行政職、技術職、資格免許職等に分類される。その職種には多様な業務があり、自治体の運営を支える重要な役割を担っている。専門職の職員は、その専門性を活かして、地域住民の安心安全な生活と健康を守るために、日々業務に励んでいる。職員の業務の現状に関し、2点伺う。

問 専門職の各部署への配置と業務は適切に行われているか。

答 総務課長 各課から要望のある専門職は配置されている。専門外の業務は、各課で互いに連携し補完できていると認識している。

問 各種行事への職員動員の待遇はどうなっているか。

答 総務課長 法や条例に基づき、時間外勤務手当や代休の付与といった適切な対応を実施。しかし、職員個人の判断で地域のボランティア活動等に参加する場合は対象外。

嘉手納地区学習等 供用施設・児童館について

本町の学習等供用施設は、地域社会の発展と地域住民の福祉の増進を図り、地域の児童へ健全な遊びの機会とその健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする児童福祉施設である。

その施設を活用し、遊びを通じて集团的、個別的指導や地域組織活動の育成、健康体力の増進、児童の世代間を超えた社会性の育成という効果が期待できる。

当該施設は、施設の老朽化に

よる改修工事のため、8月22日から閉館され利用が停止された。そこで施設の改修工事等について3点伺う。

問 改修工事の事業概要は。

答 子ども家庭課長 供用開始から35年が経過。施設の老朽化や設備の劣化が進行。施設の機能復旧を図るため、空調機器やトイレの工事を行う。工期は3月末までを予定。

問 施設利用停止期間中の利用者へ対する代替案は。

答 子ども家庭課長 サークル等の団体へは、かでな未来館や中央公民館の利用を案内し、児童生徒へは、放課後教室やウムウム倶楽部、各区コミュニティセンターの利用を案内している。

問 改修後の2階部分の利用スケジュールは。

答 子ども家庭課長 1年限定で、児童保育事業を実施する。



町村議会議員・事務局職員研修会等



令和7年10月8日、県町村議会議長会主催「町村議会議員・事務局職員研修会」が西原町で開催され、議員9名と事務局職員が参加した。第一部では、全国町村議会議事調査部長の飯田厚氏を講師に招き、「議員の役割と負託される職務」について留意事項等を学んだ。

第二部では、災害ソーシャルワーカー稲垣暁氏から「災害時における議会と議員の役割や課題」について講話があり、過去の大震災発生時の事例を参考に理解を深めた。

また8月19日には、「町村議会正副議長・正副委員長研修会」が南風原町で開催され、議員6名が参加した。議員のなり手不足と女性議員の議会参画、等を学んだ。



**議会ネット中継
配信開始!**



嘉手納町議会ホームページでは、定例会・臨時会の会期日程や一般質問通告書、意見書・決議等を掲載し、情報を発信しています。

また、インターネット中継を行っています。ホームページやスマートフォンからでもご覧いただけます。

主な議長公務日程

8月8日	中部地区議員・職員研修会
8月15日	農林健児之塔慰霊祭、平和祈願祭
9月9日	正副議長・正副委員長研修会
9月18日	最上広域圏青少年交流団歓迎交流会
10月28日	秋の全国交通安全運動出発式 ハワイ短期留学派遣事業報告会
11月1日	鯖江市行政視察受入れ
11月4日	野國総管まつり
11月7日	オープニングセレモニー
11月8日	県町村議会議長会定例総会
11月15日	町村議会議員・職員研修会
11月29日	三連協目視調査、県商工会青年部連合会50周年記念式典・祝賀会
12月31日	比謝川行政事務組合定例会 中部広域市町村圏事務組合定例会

その他15件

題字紹介

議会だより



屋良小学校3年
きょう
村上 叶さん

議会だよりの「議」のバランスをとるのがむずかしかったです。はらう所やとめる所に気をつけてかきました。はじめに書いた時は、バランスの悪い字だったけど、あきらめずにいいに書く、と、バランスの良い字が書けたので、がんばったかいいがよかったと思います。これからもいろんな事にチャレンジしたいです。

職人・人物紹介

株式会社ビー
新垣 好二さん/デジタルんちゅ



東京で、システムエンジニアとして勤務後、IT企業会社で企業アプリやWebシステム開発を手掛ける。TBSオールスター感謝祭やNHK紅白歌合戦で携帯からの視聴者参加型アプリが大ヒット。

その後、地元の嘉手納町へ帰りマルチメディアセンター内で(株)ビーを設立、スマホアプリの企画・開発・運営を行う。また、中学生向けプログラミング講師として、未来への人材育成にも力を入れています。今後は、デジタル技術で企業や行政を支援しつつ、技術と想いを形にする人「デジタルんちゅ」として地域の輪を広げていきたいと語っていました。

株式会社ビー ○九八・九七五・八一〇八

